



**WheelLog とユニバーサル都市デザインの促進に関する共同取り組みを開始
～すべての人々が暮らしやすく、持続可能なまちづくりの実現に向けて～**

2021年4月12日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（社長：金杉 恭三）と一般社団法人 WheelLog（代表理事：織田友理子、以下「WheelLog」）は、誰もが安心・安全で自由に移動しやすいモビリティ社会の実現に向けたユニバーサル都市設計の推進に、4月から共同で取り組んでまいります。

1. 背景

近年、社会情勢の変化に伴う人口減少・超高齢社会の到来等の諸課題が顕在化する中、高齢者や障がいのある人を含めるすべての人々が暮らしやすく、持続可能なまちづくりの実現が求められています。そのような中、住居、交通機関、公共スペース、その他建築において、ユニバーサルデザインの考え方をもとに製品やサービスを開発する動きが広がっています。

当社では、ダイバーシティ&インクルージョンを経営戦略のひとつに位置づけ、先進的かつ特色ある取り組みにより「安心・安全な社会の形成」「少子高齢化社会への対応」等の社会課題の解決に向けて、地方自治体・公共団体との連携協定を積極的に行い、事故の防止、安心・安全な社会の構築に資する商品・サービスを提供するなど、持続可能な社会づくりに貢献することを目指しています。

WheelLog は「車いすでもあきらめない世界」をスローガンに、2017年5月からユーザー投稿型のバリアフリーマップ「WheelLog!」を展開しています。自治体等が提供するオープンデータの活用、また、各地で街歩きイベントを開催するなど、バリアフリー化促進のための活動に注力し、シームレスな移動体験の実現に向けた実証実験等にも参画しています。

当社は、持続可能なまちづくりに向けた取り組みの一環として、WheelLog への支援を通じた共生社会に資する取り組みを進めるとともに、地域社会の発展に向けてスマートシティ推進等の分野において連携・協力していくことを WheelLog と合意し、日本企業として初めて WheelLog プラチナスポンサーとなりました。

2. 取り組み概要

当社と WheelLog は、スマートシティの推進において、バリアフリーマップを生成する「WheelLog!」アプリを通じて得た「車椅子走行データ」と、当社または自治体の保有するバリアフリー情報や防災関連データを他の MaaS データ等と連携しながら相互活用していくことを検討していきます。具体的には、車椅子での外出が楽しくなる社会の実現に向けて、WheelLog!アプリと連携したオンデマンド配車サービス等による快適な移動ルートの確保を検討するとともに、避難所情報をマッピングしたバリアフリールートナビの開発等により、有事の際の車椅子での避難を安心・安全・簡便にできる仕組みづくりを共同で研究してまいります。

また、自治体が保有するバリアフリーデータと同アプリから得られるスポット情報や口コミデータ等を活用し、バリアフリー施設・設備の利用者の声を継続的に収集することで、市民参加型のユニバーサル都市デザインを促進していくことを目指します。

<取り組み概要のイメージ>



3. 今後の展開 **CSV×DX**

当社と WheelLog は、収集した各種データを提携先である地方自治体や企業に連携することで観光客や移住者の流入を促し、地域の魅力強化を支援していきます。また、本連携を通じて、車椅子利用者の移動における様々な課題解決に取り組むとともに、今後もデータ・デジタル（DX）を活用した共通価値創造（CSV）に資する保険商品・サービスの開発・提供により、「レジリエントな街づくり」の実現に貢献していきます。

<WheelLogの概要>

団体名：一般社団法人 WheelLog

<https://wheelog.com>

所在地：〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-15-2

九段坂パークビル 4階 M&K コンサルタンツ内

設立：2018年



<WheelLog!アプリについて>

WheelLog! は、車いすで実際に通った道や、ユーザー自身が実際に利用したスポットなど、ユーザー体験に基づいたバリアフリー情報が集まっている「ユーザー投稿型」のバリアフリーマップです。スマートフォンのアプリで提供しており、どなたでも無料でご利用いただけます。健常者の方々が協力することによって飛躍的に情報量が増えるため、ぜひアプリをダウンロードの上、積極的に投稿ください。

QRコードからアプリをダウンロード



ユーザーが車椅子で通った道をマップ上で共有



車椅子ユーザーが利用できる施設や設備をみんなで共有



車椅子ユーザー、健常者が投稿することで世界中のバリアフリー情報をアプリで共有



以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs（持続可能な開発目標）を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。

